

水稲用

ケルパック66®

**異常気象下でも根量が増え光合成能が高まるため、
健苗育成、有効茎増加、登熟・食味・品質向上、
安定多収に効果が期待できます。**

根量が増えケイ酸吸収が良くなるためイモチにかかり難くなり、倒伏軽減効果が期待できます。

ケルパック66とは

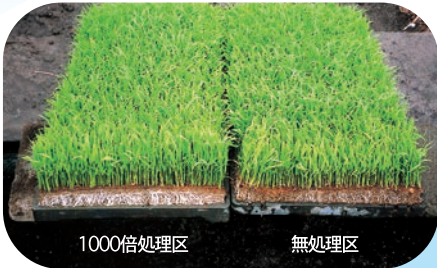
「ケルパック66」とは、南アフリカ産、巨大海藻 エクロニア・マキシマ（草丈12～13m、茎の直径7～8cm）から抽出した**海藻エキス**（バイオスティミュラント）です。

「ケルパック66 ウェット粒剤」は、海藻エキス（ケルパック66）300mℓを**ゼオライト**に吸着させた**海藻製品**です。

両材とも**生育を旺盛にし**、発根を促進し、光合成能を高め、**増収と品質向上**をもたらす働きがあります。これは、含有成分の**アミノ酸、ミネラル、ビタミン、多糖類及び植物ホルモンのオーキシン、ジベレリン、サイトカイニン、ACC（エチレン前駆体）**などの複合作用によるものです。



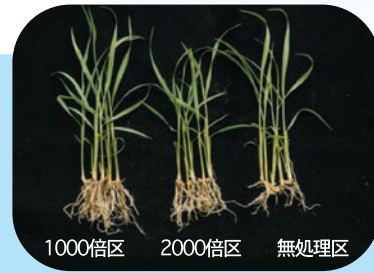
健苗育成



1000倍処理区

無処理区

田植7日前の苗の状態。
処理区の根は白く
マット形成が良
なっている。



1000倍区

2000倍区

無処理区

本田処理



左：ウェット粒剤
処理区
右：無処理区
処理区は根数、
根量とも多く、
太く、長く、
また茎も太く、
葉色が濃かった。



収量：564kg
食味値：82ポイント

収量：500kg
食味値：76ポイント

（食味計
：サタケ）

処理区の
ほうが、
茎葉および
穂の色沢が
良く、穂が
重かった。

本田処理10日後の抜き取り時の状態と出穂40日後の登熟状態（9月19日）

左：ウェット粒剤処理区 右：無処理区

品種：ササニシキ。田植時期：処理区、無処理区とも平成10年5月1日。ウェット粒剤5月3日と6月14日の2回処理。各1袋/10a 10月11日収穫

かんたん！便利！安い！！

ロイヤル インダストリーズ株式会社

販売元 〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19
TEL 03(3489)1408 FAX 03(3489)9308



CREDIT
本製品の収益の一部は「トキの森プロジェクト」
森林整備資金に寄付させていただきます。

ケルパック66

使用方法

下記の使用方法の中から都合の良いものを一つ選んで処理して下さい。

田植直前のウェット粒剤（細粒タイプ）の箱処理が便利！ 本田の省力化に！

育苗期	田植直前期	穂肥期
<p>1回目処理</p> <p>目的：健苗育成・マット形成強化 時期：播種期または緑化期</p>	<p>2回目処理</p> <p>目的：活着促進、分けつ促進 時期：田植3日前～移植当日までに</p>	<p>3回目処理</p> <p>目的：登熟・食味向上・倒伏軽減 時期：田植後30～50日の間</p>
<p>「ウェット粒剤」中心で処理する場合 効果が持続</p> <p>使い易い120ml入りがお勧め！</p> <p>ケルパック66 (ミニパック)</p>  <p>• 播種期の場合 ケルパック66原液4ml（苗箱15～20枚/10a）を慣行通りの灌水に溶かし灌水する。 または • 緑化期の場合 ケルパック66原液4ml（苗箱15～20枚/10a）を1000倍に薄め4ℓとし、背負噴霧機で200～270ml/箱散布する。</p>	<p>ケルパック66の効果が本田初期まで続きます！</p> <p>ウェット粒剤 (細粒)</p>  <p>規格：1.2kg入り</p> <p>【弁当持たせの処理】</p> <p>ウェット粒剤（細粒）1袋（苗箱15～20枚）を動力散布機または手動散布機で60～80g/箱に散布する。</p>	<p>水中でケルパック66が徐々に溶け出し効果が長続きます！</p> <p>ウェット粒剤 (中粒)</p>  <p>規格：1.2kg入り</p> <p>ウェット粒剤（中粒）1袋/10aを動力散布機・ドローンで散布する。または水口から流し込む。</p> <p>高温障害による乳白米・未熟粒を軽減するためには、本田期処理により「根の活力を高める」ことがとても大切です。</p>
<p>「ケルパック66液体」のみで処理する場合 省力化に</p> <p>南アフリカ産巨大海藻エキス</p> <p>ケルパック66</p>  <p>規格：120ml、1ℓ、5ℓ、10ℓ、25ℓ入り</p> <p>大規模経営に！ 省力化に！</p>	<p>【弁当持たせの処理】</p> <p>ケルパック66原液100ml（苗箱15～20枚/10a）を100倍に薄め10ℓ（10000ml）とし、背負噴霧機で500～660ml/箱散布する。</p> 	<p>ケルパック原液200～300ml/10aを中干し後、水口から流し込む。またはその他ドローン等の処理方法も可。</p>  <p>高温障害による乳白米・未熟粒を軽減するためには、本田期処理により「根の活力を高める」ことがとても大切です。</p>

注意事項

- ほとんどの肥料・農薬と混合可。中粒タイプは粒のサイズが大きいので、他の粒剤との混用は不可。
- 過剰施用すると生育を抑制することがあるので使い過ぎないこと。育苗期に使い過ぎた場合は大量の水を掛け洗い流すこと。

これまでにケルパック66をご採用いただいた各JAのコメント

JA北越後(新潟県)	JA佐渡(新潟県)	JAIわて中央(岩手県)	JA会津みどり(福島県)
<p>ケルパック66の育苗期使用で、3ヵ年試験したが何れの年も苗質良好で根量が多く、根張りも良かった。又病害・生理障害も無く健苗が育成された。</p> <p>本田処理でも初・中期生育促進、有効茎増加、登熟向上等の効果が期待できる。</p> <p>特に玄米千粒重は連年で目標値を上回る結果が出た。</p>	<p>「環境にやさしい佐渡米」づくりを実践している当JAは、ケルパック66の育苗期と本田での実証試験を行い、根量の増加により苗質の向上・本田での効果等が見られた。</p> <p>また、有機栽培にも使用できる資材として平成21年度から採用している。</p>	<p>ケルパック66(液体)は、減農薬、特別栽培米の健苗育成に、またケルパック66・ウェット粒剤は減農薬、特別栽培米の初期生育促進、倒伏軽減、登熟歩合向上及び増収に欠かすことのできない資材である。</p>	<p>苗立枯病予防の殺菌剤に代え、ケルパック66を播種時に灌水したが、健苗に育ち田植まで病気の発生は全く見られなかった。減農薬が図れ大変助かった。</p> <p>また、ウェット粒剤処理により、葉色が出、茎数がとれ、根張りがとても良くなり倒伏し難くなる。</p>

ケルパック原液処理による試験結果

試験場所	試験年	品種	処理時期	処理量	収量
日植調秋田	平成3年	あきたこまち	田植え3日前	1000倍液 180ml/箱	630kg
			田植え35日後	原液 200ml/10a	
宮城県農試	平成2年	ササニシキ	無処理		542kg
			出穂20日前	原液 200ml/10a	660kg
岩手県農試	平成3年	あきたこまち	無処理		576kg
			田植え3日前	1000倍液 180ml/箱	454kg
			田植え27日後	原液 200ml/10a	
			無処理		409kg